

備蓄米放出と 輸入枠拡大を

農相に要望書

コンビニエンスストア
向けのおにぎりなどを生

産している企業で構成す

る日本べんとう振興協会

(東京・新宿)は6日、

郡司彰農林水産相に対し

20万〜30万トの政府備蓄

米の放出を求める要望書

を提出した。業務用米の

不足と高値が続いている

ため。また主食用の外国

産米の輸入枠を、現行の

10万トから15万〜20万ト
に拡大することを検討す
るよう求めた。

要望書では、業務用の
コメがここ2〜3カ月市
場に出回らず、コメ価格
も前年より約20%上がっ
ていると指摘。特に不足
感が強い低価格米だけで
なく「コシヒカリやひと
めばねなど品質の高い銘
柄についても値上がりが
波及し、会員企業の経営
が厳しくなっている」と
している。

同協会は約40社が加盟
し、年間のコメの使用量
は約30万ト。卸会社など
からコメを仕入れて、セ
ブンイレブンやローソン
といった大手コンビニチ
エーンを中心に、おにぎ
りや弁当を供給している
企業が参加している。